

◆鶴見川での車両転落事故時の対応について

10月21日午前、鶴見川河口部の工場敷地内からタンクローリーが転落する事故が発生しました。このため、京浜河川事務所では、オイルの流出による鶴見川の汚濁を未然に防ぐため、車両の周りにオイルフェンスを設置しました。あわせて、河川巡視船や陸上からの河川巡視により周辺へのオイルの流出を確認する等の取り組みを行いました。確認した結果、鶴見川へのオイルの流出はありませんでした。また、転落した車両は、その日のうちに撤去されています。



オイルフェンスを布設している状況